

36402 平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36402	基礎デザイン Base Design	小山田 尚弘	専門	1	選択	1・2年 前期
科目の概要						
折紙や異素材を使ったコラージュやフロッタージュなどの作品制作を体験しながら、基本的な作品のまとめ方や配色方法など説明していきます。また、B 1 パネルにケント紙を水張りして自由に作品を描いてもらいます。完成した作品は岡崎市民美術展（5月）、西尾市民美術展（10月）、岡崎美術展（11月）、に出品します。また、フロッタージュの技法を使った作品を完成し、染色意匠図案コンペティション（6月）に応募出品します。入選や受賞して才能を開花して欲しいと思います。ポスターカラー・アクリル・水彩絵具などの美しい塗り方の方法などについても学びます。授業をどうし、社会人基礎力を身に付け、独創的なアイデア表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。						
学修内容			到達目標			
① 紙のコラージュや異素材コラージュなどで基本的なデザインを学習する。			① 紙のコラージュや異素材コラージュなどの技法を使って作品を仕上げることができる。			
② フロッタージュの技法で着物柄のデザインを描く。			② フロッタージュの技法を使って作品を制作することができる。			
③ B 全パネルに自由に作品を描く。 ※学生が得意とするイラストを描き、市民美術展などに出品する。潜在能力開発の一環。			③ B 全パネルに作品を描き仕上げることができる。完成した作品を岡崎市や西尾市の市民美術展などに出品できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	学生の感性を大切に、総合的に作品を創造し仕上げることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	課題は必ず実行していた。				
考え抜く力	課題発見力	制作で迷ったら、総合的に判断し仕上げることができる。				
	計画力					
	創造力	色彩や構図など学生独自に、自由に創造し考え上げることができる。				
チームで働く力	発信力	課題に対して、計画を立て、進めることができた。				
	傾聴力	教員の説明をよく聞き、独自のオリジナリティで自由に描き制作できる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業内に、「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら、考えることができた。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:ない。必要に応じてプリントを配布する。 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:色彩と表現、ポップデザイン、染色デザイン 資格との関連:なし						
学習上の助言			受講生とのルール			
普段生活している時から自分の周りに美しい配色や形などないか気を配り探すこと。見つけたら記録しておき作品に使うこと。 ・課題を考える時、アイデアをたくさん出し描き、良い作品に仕上げる努力をする。			紙のコラージュや異素材コラージュでは折り紙や異素材を自宅から持ってきて、画用紙に丁寧に貼ること。 ・パネルに紙を水張りする時は綺麗に張り上げること。 ・作品製作費・・・ケント紙代、水張りテープ代 300 円			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	80	①	✓	・制作した作品については完成度(特に優れて高い:K、優れて高い:A、完成はしているが仕上がりは普通:B、完成はしているが仕上がりは悪い:C、完成できてない:D)を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	主体性:学生の感性を大切に、総合的に作品を創造し仕上げることができる。 実行力:課題は必ず実行し仕上げることができる。 課題発見力:制作で迷ったら、総合的に判断し仕上げることができる。 創造力:色彩や構図など学生独自に、自由に創造し考え仕上げることができる。 発信力:課題に対して、計画を立て、進めることができる。 傾聴力:教員の説明をよく聞き、独自のオリジナリティで自由に描き制作できたか。 規律性:作品を描くときに、「なぜ?」「どうして?」という疑問を持ちながら、考え制作できる。
		②	✓	
		③		
その他	10	①	✓	・作品を制作する時に、たくさんのアイデアを描いて、できるだけ良い作品になるように努力することができた。
		②	✓	
		③	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A:制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性に優れ、完成度の高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S:上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れ高い評価となっている。</p>	<p>B:制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザイン知識を身につけている。</p> <p>C:上記の基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	「オリエンテーション」 授業の内容やスケジュールについて説明する。参考見本など見せながら制作について説明する	講義	授業の内容やスケジュールについて理解できる	(復習)授業で説明した内容の理解と次回の持参する物の確認しておく	90	主体性 創造力 規律性 傾聴力 発信力
2週 /	「コラージュ(紙)①」 デザインの基礎理解として点、線、面について解説後、課題を制作してもらいます。ムーブマン、コラージュ、イメージ表現基本要素の点、線、面について説明する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインの基礎理解としての点、線、面が理解でき課題も提出できた コラージュの意味と理解して作品制作できる	(予習)コラージュデザインについて教員から説明があった事などまとめておく (復習)コラージュ(紙)についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 傾聴力 実行力 課題発見力
3週 /	「コラージュ(紙)②」 紙の性質を利用して、折る、曲げる、ちぎる、もむ、丸めるなどの性質などを利用して仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	紙の性質である「折る、曲げる、ちぎる、もむ、丸めるなど」のを使ってコラージュ作品を仕上げるができる	(予習)紙コラージュのデザインをたくさん考えてくる(復習) コラージュ(紙) についてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力 規律性
4週 /	「コラージュ(紙)③」 配色や構図などに気をつけて構成する	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	コラージュ作品を美しい配色も意識しながら仕上げる ことができる	(予習)作品と配色についていろんな角度から検討して調べてくる (復習) コラージュ(紙) 作品制作についてまとめる	45 45	主体性 創造力 実行力 傾聴力 発信力
5週 /	「コラージュ(写真)①」 画用紙に写真を貼り視覚的なコラージュ表現の作品を仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	問題点などを指摘してできるだけ良い作品に仕上げる ことができる	(予習)次回持参する物について再確認する。服地柄を調べてくる。 (復習) コラージュ作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 発信力 傾聴力 実行力 課題発見力
6週 /	「コラージュ(写真)②」 画用紙に写真を貼り視覚的なコラージュ表現の作品を仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	参考作品を見せる。良い作品になるようにアイデアを沢山出し制作し仕上げる ことができる	(予習)花をスケッチしてデザイン化できるようにアイデアを考えて来る。 (復習)コラージュ作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 課題発見力
7週 /	「フロタージュとテクスチャー①」 着物デザインコンクール作品 葉、石、布、木皮、コンクリートなど表面の凹凸テクスチャーを利用して作品を制作する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	葉、石、布、木皮、コンクリートなど凹凸表面に絵具を塗り画用紙に押さえつけてデザイン表現し仕上げる ことができる。 配色にも気をつけて仕上げる ことができる。	(予習)フロタージュとテクスチャーを理解し作品としても試作として仕上げてくる。 (復習) フロタージュ作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 課題発見力 発信力 規律性
8週 /	「フロタージュとテクスチャー②」 着物デザインコンクール作品 葉、石、布、木皮、コンクリートなど表面の凹凸テクスチャーを利用して作品を制作する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	葉、石、布、木皮、コンクリートなど凹凸表面に絵具を塗り画用紙に押さえつけてデザイン表現し仕上げる 配色にも気をつけて仕上げる ことができる	(予習)いろいろな凹凸のある材料で画用紙に転写してみて、最も面白い凹凸材料で仕上げておく(復習) フロタージュ作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 実行力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	「フロッタージュとテクスチャー③」 葉、石、布、木皮、コンクリートの表面にポスターカラーを塗り、画用紙に転写するテクスチャーを学ぶ。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	葉、石、布、木皮、コンクリートの表面にポスターカラーを塗り、画用紙に転写するテクスチャーを学び仕上げることができる。	(予習)いろいろな材料の凹凸の形を活かして画用紙に転写し実験しておく。 (復習)フロッタージュ作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 実行力
10週 /	「パネル作品制作(コンクール用)①」 B 全パネルか A1パネルにケント紙を水張りし、学生の得意とするテーマや絵の具を使って描きあげる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	B 全パネルにケント紙を水張りし、アイデアを出して考えまとめ描くことができる	(予習)どんな作品を描くか色々と検討し描いて試す。 (復習)パネル作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
11週 /	「パネル作品制作(コンクール用)②」 学生が得意とするテーマや絵の具で作品を制作させるので優秀な作品が出来上がりやすく、コンクールにも学生の多くが入選受賞している。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	色んな角度からデザインを考え描き上げることができる	(予習)卒業生の参考作品を見本に色んな角度からアイデアを出して考えてたくさん描いてみる。 (復習)パネル作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 課題発見力
12週 /	「パネル作品制作(コンクール用)③」 教員より配色や構図などについて指導説明する。学生ごとに対応し仕上げる。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	配色や構図などもう一度検討し仕上げるができる	(予習)自分の芸術的な個性を大切にしながらアイデアを考え描き上げておく。 (復習)パネル作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 課題発見力 発信力
13週 /	「パネル作品制作(コンクール用)④」 完成近くの作品に対して、配色やフォルムなどのまとめ方などを指導する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	美しい配色や形を追求し仕上げていくことができる	(予習)美しい配色や面白い配色など色んな配色を検討し試作しておく。 (復習)パネル作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 傾聴力 課題発見力
14週 /	「パネル作品制作(コンクール用)⑤」 コンクールへの出品に向けて応募用紙を配布し記入する。パネル作品は展示できるように作品裏に釘やヒモを付ける。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	コンクールへの出品に向けて準備できる。	(予習)全体的に作品を仕上げながら再度、配色やデザイン構成を見直し修正や変更する箇所があれば訂正しておく。 (復習)パネル作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力 課題発見力
15週 /	「パネル作品制作(コンクール用)⑥」 批評会を行い各学生作品について解説する。	講義と実習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品制作が完成し良かった所や再検討する所を確認し仕上げるができる。	(予習)いろんな角度から作品を検討し教員からのアドバイスも参考にしながら仕上げる。 (復習)パネル作品制作についてまとめる。	45 45	主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力